



朝会での話を簡潔にまとめて紹介します。

7月2日 「カタツムリの魅力」

7月に入りました。1学期もラストスパートですね。まだ、梅雨が続けているので、雨が降る日が多いです。今日も朝からムシムシした天気ですね。

この前、校長先生は家の近くで、この生き物を見つけました。(イラスト掲示)

そうです。カタツムリです。皆さんも、最近見かけることがあるかもしれませんね。(低学年児童を中心に「ある」との声)

これは、1年生で習うのかな?かたつむりの歌です。(歌詞を掲示)

1番と2番があって、1番は「おまえの頭はどこにある」ですが、2番は「おまえの何はどこにある」隠れている所には、何が入るでしょう?分かる人?(低学年児童のほとんどが挙手)

そうです。目玉です。では、カタツムリの目玉はどこにあるのでしょうか?

カタツムリには、つの、触角といいます、1, 2, 3, 4, 4本あります。(写真掲示)そのうちの大きなつのの先に目玉がついています。少し拡大すると、小さいですが、目玉がついているのが分かります。(写真掲示:目玉が見えるの声)

周りがよく見えそうにも思うのですが、はっきりとは見えていないらしいです。大きな方の触角を振りながら進み、ぶつかるといったん触角を引っ込めて、方向を変えてまた進みます。

カタツムリは、サザエやタニシの仲間で、もともとは、水中で暮らしていたものが、陸上にあがって生活できるように進化したそうです。雨が好きなものなんとなく分かりますね。

カタツムリはゆっくりゆっくり進みます。でも、そのゆっくりゆっくり進むのが、また、魅力であり、ついついその動きに見入ってしまいます。

それは、人間に置き換えても、同じだと思います。いろいろなことを早くできるのも、その人のもちあじ、少し時間がかかっても、丁寧に確実に、探りながら、考えながら、進むのも、また、その人のもちあじです。

皆さん一人一人に、一人一人が持つ良さやもちあじがあります。これからも、友達のたくさんの良さを見つけていきましょう。また、「やる気いっぱい」、「せいっぱい」、「笑顔いっぱい」、頑張っている姿をたくさん見つけてください。